

第41回 全日本バウンド テニス選手権大会 石川県予選

日時／令和5年3月21日（火）

会場／いしかわ総合スポーツセンター



主催／石川県バウンドテニス協会

後援／(株)北國新聞社



I.B.T.A

【大会役員】

大会会長	吉田 修	(石川県バウンドテニス協会)	会長)
大会副会長	小林 誠	(石川県バウンドテニス協会)	副会長)
大会副会長	本多 悦夫	(石川県バウンドテニス協会)	副会長)
大会参与	太田 臣宣	(石川県バウンドテニス協会)	参与)
大会参与	谷 健一	(石川県バウンドテニス協会)	参与)
大会参与	杉林 敏	(石川県バウンドテニス協会)	参与)
大会参与	北 幸裁	(石川県バウンドテニス協会)	参与)
大会委員長	佐藤 進	(石川県バウンドテニス協会)	副会長 兼 理事長)
大会副委員長	飯田 実	(石川県バウンドテニス協会)	副理事長)
大会副委員長	鍛冶 勝之	(石川県バウンドテニス協会)	副理事長)
大会副委員長	堀 孝治	(石川県バウンドテニス協会)	副理事長)

【大会運営役員】

総務委員長	西谷 学
総務副委員長	宮村 浩一
競技審判委員長	村上 泰一
運営委員長	木村 愛
運営副委員長	平山 美和子
運営委員	生垣 治 平野 学 嶋田 絵美

●表彰

(A) 各種目1～3位まで、それぞれ賞状を授与する。

第40回全日本バウンドテニス選手権大会

優勝	フリーの部	女子ダブルス	平山 美和子・木村 愛
三位	フリーの部	女子シングルス	平山 美和子
三位	ミドルの部	女子シングルス	高畠 淑子

第18回北信越ブロックバウンドテニス選手権大会

優勝	フリーの部	男子シングルス	山下 祐生
優勝	ミドルの部	男子ダブルス	平野 学・宮村 浩一
優勝	ミドルの部	女子ダブルス	嶋田 絵美・高畠 淑子
優勝	ミドルの部	女子シングルス	嶋田 絵美
優勝	シニアの部	女子ダブルス	杉本奈美恵・早川 文代

以上の選手は推薦により第41回全日本バウンドテニス選手権大会に出場できるものとする。

- ◇ 第41回 全日本バウンドテニス選手権大会
開催期間：令和5年6月3日(土)～4日(日)
開催場所：東京体育館

●スケジュール

- 受付
- 競技・審判上等の注意 8：50
- 競技開始 9：10～

●競技方法

【競技種目】

- (A) フリーの部 男・女ダブルス (16才以上)
- (B) ミドルの部 男・女ダブルス (45才以上)
- (C) シニアの部 男・女ダブルス (60才以上)
- (D) フリーの部 男・女シングルス (16才以上)
- (E) ミドルの部 男・女シングルス (45才以上)
- (F) シニアの部 男・女シングルス (60才以上)

【競技方法】

試合は、令和4年度（一財）日本バウンドテニス協会・競技規則によるほか、次の事項により実施する。

- (A) 試合は原則全種目トーナメント方式で行い（参加人数によりリーグ戦を行う場合もある）シニアの部は7ゲームマッチとする。
- (B) リーグ戦で勝率が同じ場合の順位決定は、次の順位による。
 - (1) 得失ゲーム数差 (2) 得失ポイント数差 (3) 当該対戦結果
- (C) 出場選手は、試合開始予定時刻の5分前までにコートに集合のこと。
（但しその前の試合があった場合、前試合終了後速やかにとする）
- (D) 試合中の選手が身体上の故障により試合を中断した場合は、同一試合1回限り、5分以内のタイムを認める。ただし、再度の故障による試合中断は、競技審判委員長と大会委員長が協議の上裁定する。
- (E) 審判は、参加選手が行い主催者側で指名する。

【競技用具】

- (A) コートは人工芝を使用する。
- (B) 用具は全て（一財）日本バウンドテニス協会が公認したものとする。

【参加上の注意】

1. 参加者は、事前に健康診断を受けること。
2. 競技上の事故については、主催者は応急処置のみ行う。
3. 参加者は、別途傷害保険に加入することが望ましい。
4. 審判員有資格者は審判証を持参し、審判を行なう際に携帯すること。
5. 参加選手および観戦者は、フェアプレイ精神を尊重し、コーチング、審判への暴言、中傷は厳に慎むこと。
6. 参加選手は、競技にふさわしいスポーツウエアで出場すること。街着Tシャツの着用や、タオル等でのバンドナ代用についてはご配慮ください。
7. マスクを着用すること（競技時除く）。
8. こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること。
9. 会場内では、他の参加者、主催者スタッフ等との距離（できるだけ2m以上）を確保すること。
10. 大会中に大きな声で会話、応援等をしないこと